

# エクストリームウィンターチャレンジ2012 信州高山大会

## 優勝チームコメント

加波一族 百名山バッチコレクターズ 広木 愛子 さん

実はスノーシューは2回目。1月の中旬にスノーシューを購入して、大会の1週間前に磐梯山のイエローフォールで練習兼ねて遊びに行きました。

2人とも寒いのが苦手な冬山へは抵抗がありましたが、冬の景色の素晴らしさを改めて実感したので、信州での雪遊びも心待ちにしていました。

当日は気持ちを通じたのか、期待通りの快晴、風もなく美しい白銀の世界。レースへの気持ちも高ぶりました。2人でのルールは「真剣に思い切り楽しむ事」。

さあ、いよいよスタート。

スタートは、スノーフラッグ。全力投球で駆け上がり、2本のフラッグを必死に取りに行きましたが惜しくも逃しました。その後も息があがり乳酸で足もパンパン、結局3番目のスタートになってしまいました。がっかりしたけど、これが効を奏して前のチームのトレースが目印になり、雪も踏まれた後だったのでスムーズに進む事が出来ました。

CPの順番は、CP2→4→3→1→リフト→8→9→10→7→6→5→GOAL。クイズはリフトの方に聞いたり、相手の知識を駆使したり、持っていった観光パンフレットを参考にし、真剣に取り組みました。

チームチャレンジのエアボードボーリングは、1投目は相手。2投目は私。相手の指示で「飛べっ」といわれたので、2投目は女子の私が体を張って飛びました。あれっ、最初に「楽しもう！」って言ってなかったっけ？って心の中で思ったのですが、雪まみれになって童心のようにはしゃぎ、とても楽しかったです。でもここで私が痛恨のミス。ボールペンを落としてしまいました。奇跡的に2本あったので助かりましたが、冬のレースは雪の中で物を落としたり、探すのも大変。しかも濡れたら大変。地図や、指示書、パスポートの管理もポイントの一つだなと感じました。

フォトボーナスポイントは、CPをひとつひとつ冷静に見ていき、最後のCP5でここだ！！と見つけることができました。

スノーシューでのゲレンデの上りは辛かったけど、下りはシリセードでスノーボーダーに劣らないスピードで「ワァ～」と叫びながら下り本当に楽しかったです。

結局、ゴールは制限時間約15分前、4番目でしたが、クイズのポイントで逆転勝利し総合優勝することができました。体力、地図読み、知能、チーム力・・・いろんなバランスが問われるこの競技は最後まで何が起きるか分からないから面白いです。そしてこのウィンターチャレンジは童心に戻って雪遊びを楽しめるので、心から楽しめました。また機会があれば参加したいです。

エクストレモの皆様、一緒に参加された皆様、山田牧場の皆様、その他関係者様、楽しい一日をありがとうございました。